

歯科用CAD/CAMの 歯科医院での活用のポイント

日時 7月26日(日) 14時～17時

会場 兵庫県保険医協会会議室 (神戸フコク生命海岸通ビル5階)

講師 姫路市・きたみち歯科医院 院長 **北道 敏行** 先生

対象 歯科医師

定員 80人 (事前申込順)

会員無料

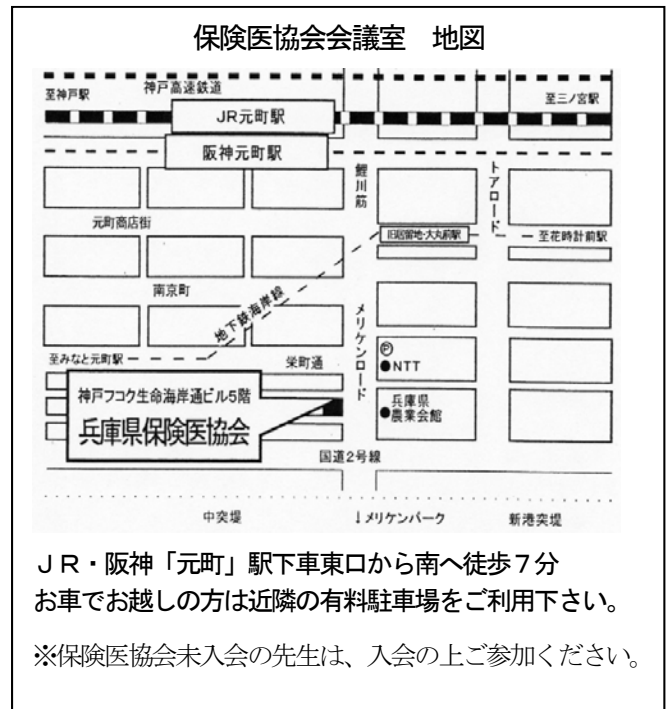
★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を絞って開催しますので事前にお申込み下さい。
会場に手指消毒液をご用意、会場換気を致します。マスクはご持参下さい。

近年『デジタルデンティストリー』といった文言が広く歯科会に浸透してきている。実際に実臨床で使用される機器としてIOS(口腔内スキャナー)が挙げられる。いわゆる口腔内直接光学印象である。また健康保険診療においても現時点では石膏模型を光学印象しCAD/CAM冠の製作がなされている。いわゆる間接光学印象である。光学印象を歯科診療に取り入れるにあたり、光学印象のコンセプトを理解することは重要である。コンセプトを理解しないと『物事を真似る』ことすら困難であるからである。

歯科診療の歴史において鑄造技術が登場し、時間の経過とともに現在の補綴分野において当たり前のものになった。世界を見ても歯科診療においてデジタル技術が患者や我々歯科医師・歯科技工士・歯科医療スタッフにもたらす恩恵は大きく、時代の流れに伴いデジタル技術を主流とした体系が確立されていくと思われる。

今回はIOSを初めとしたデジタルデンティストリーのポイント、トラブル解決法、現状についてお話をしたい。

【北道記】



参加申込書

7月26日 歯科定例研究会に参加します。

(返信 FAX:078-393-1802 TEL078-393-1809)

地区 () 市区町 () 医院名 ()

電話 () FAX ()

参加者氏名 () 職種 ()